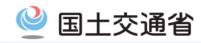
明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金



背景と課題

参考資料3 明日香村歴史的風土創造的活用事業の概要

明日香法制定と基金設置(S55)

- 国家的財産である歴史的風土を保存するため、昭 和55年に明日香法が制定され、村全域の土地利用 を厳しく規制
- 奈良県が作成する明日香村整備計画に基づく取組 を推進するため、きめ細かな事業財源として「明日香 村整備基金」を設置 (国24億円、県6億円、村1億円)

交付金の創設(H12)

○ 基金運用益の低下を踏まえ、

「明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金」を創設

- 平成17、22年度には、基金運用益の更なる低下も踏まえ支援を拡充
- 令和2年度には、民間企業等との連携による地域活性化などの 新たな取組を支援するため拡充

H12~ 100百万円/H17~ 110百万円/H22~ 150百万円/ H27~ 150百万円/R2~ 160百万円

支援内容

○ 明日香法に基づき国土交通大臣が定めた「明日香村整備基本方針」を踏まえ、明日香村が作成した「明日香村歴史的風土創造 的活用事業計画(R2~6年度) に基づき、6つの事業に係る村の主体的な取組を支援。



歴史文化学習の推進

景観の創出



地域産業の振興



国民啓発の推進



観光・交流による魅力向上



民間企業等との連携による地域活性化 $(R2\sim)$

村内に点在する遺跡等を 結ぶネットワーク道路の改 修により、来訪者が周遊 できる環境を整備。

住宅等について、古都保存法や 明日香村景観計画に基づく意 匠・形態・色彩・材質等の規制 に合致させるための修景を助成。

地元の農産物を活用した特産 品開発への支援など、地域活力 の向上につながる地域産業の振 興を推進。

発掘成果の展示や講演 会などにより、飛鳥の歴史 広く国民に啓発。

NPO法人等が運営する棚 田等のオーナー制度に対し、 的文化的遺産の価値を 活動の周知・参加者募集 等に係る経費を助成。

明日香村の自立性を高めていくため、基幹産業であ る農業・観光分野において今後目指すべき将来像を 明確にしつつ、古民家等を活用した滞在型観光の拠 点の整備など、観光・交流による魅力向上を推進。

【参考】交付金の活用事例について

明日香村歴史的風土創造的活用事業計画(第5次:令和2~6年度)に基づき、歴史文化資源の周辺環境整備(ネットワーク道路整備等)に加え、明日香にふさわしい景観の創出(オーナー制度の推進等)や観光振興(プロモーション等)、住民の生活環境の整備(空き家バンク等)など、村の保全と活用に資する幅広い用途に活用されている。



史跡周辺の除草、簡易な補修や ネットワーク道路の整備



オーナー制度の推進(棚田オーナー)



戦略的な観光プロモーション(「明日香があるさ」R4~)



空き家バンク制度の実施

▼R2年度明日香村歴史的風土創造的活用事業計画(交付金事業計画)目標とする指標一覧

指標	R6年度の目標値	現状値(R5.3末)	方針との対応
① 世界遺産関連施設の入場者数	1,000 千人/年	560千人/年	(1)~(5)
② 若年層(20~30代)の社会増数	10 人/年	-30/年	(1)~(6)
③ 建築物等の修景件数	300 件(累計)	39 件(累計)	(2)
④ 里山整備面積	2ha/年(累計)	1.93ha/年(累計)	(2)
⑤ 農産物直売所の売上金額	450,000 千円/年	452,415千円/年	(3)
⑥ 空き家契約成立件数	50 件(累計)	39件(累計)	(3)
⑦ オーナー制度会員数	800 人/年	411人/年	(3)(4)
⑧ 村内宿泊客数	19,000 泊/年	6,401泊/年	(3)(5)(6)
⑨ 埋蔵文化財展示室入場者数	12,500 人/年	6,515人/年	(4)
⑩ 新規起業件数	40 件/年 (累計)	26件/年 (累計)	(5)
⑪ ボランティア活動参加者	350 人/年	130人/年	(6)